運用設計入門コース (ワークショップ 第1回)

運用のステークホルダー

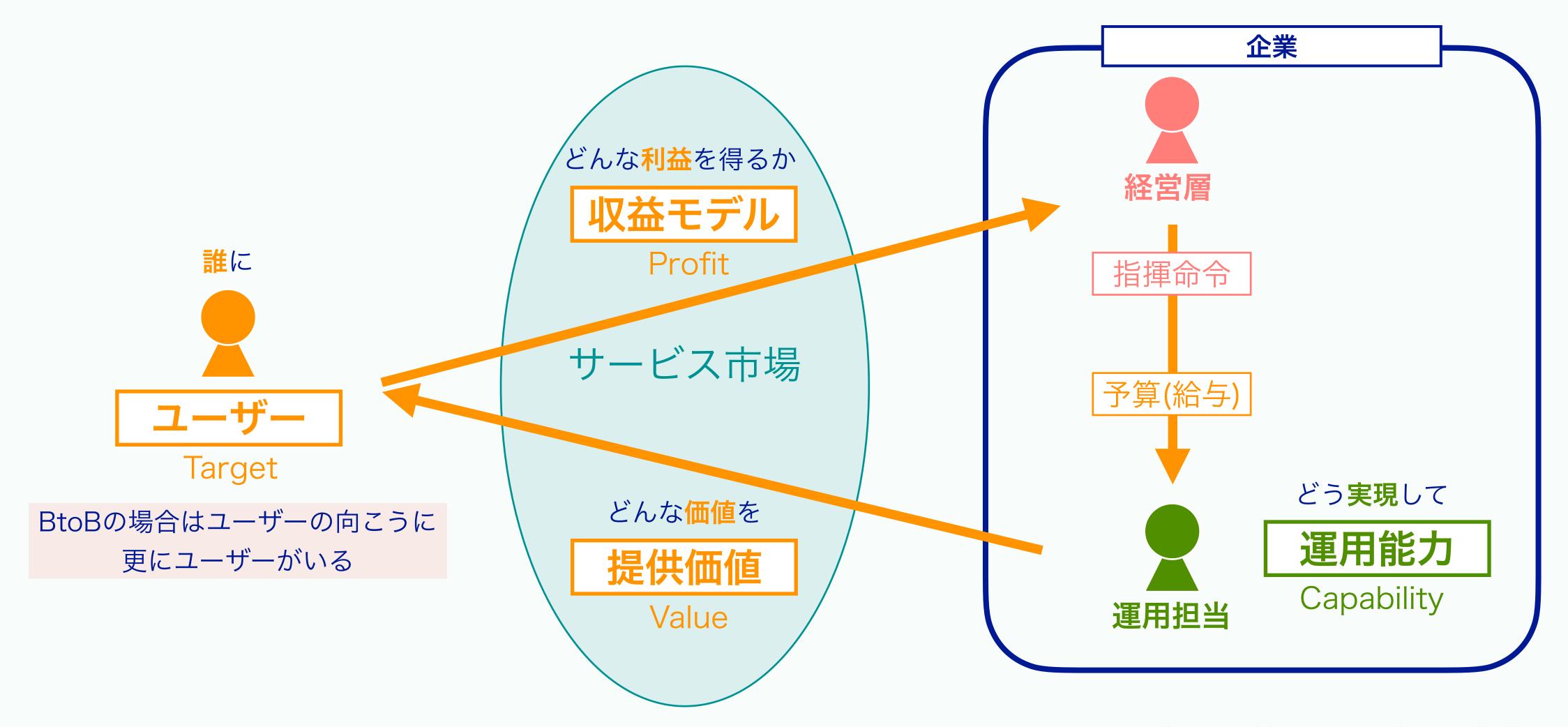
運用設計ラーニング

2023-11-13

復習

ステークホルダーは「ビジネスモデル」で決まる

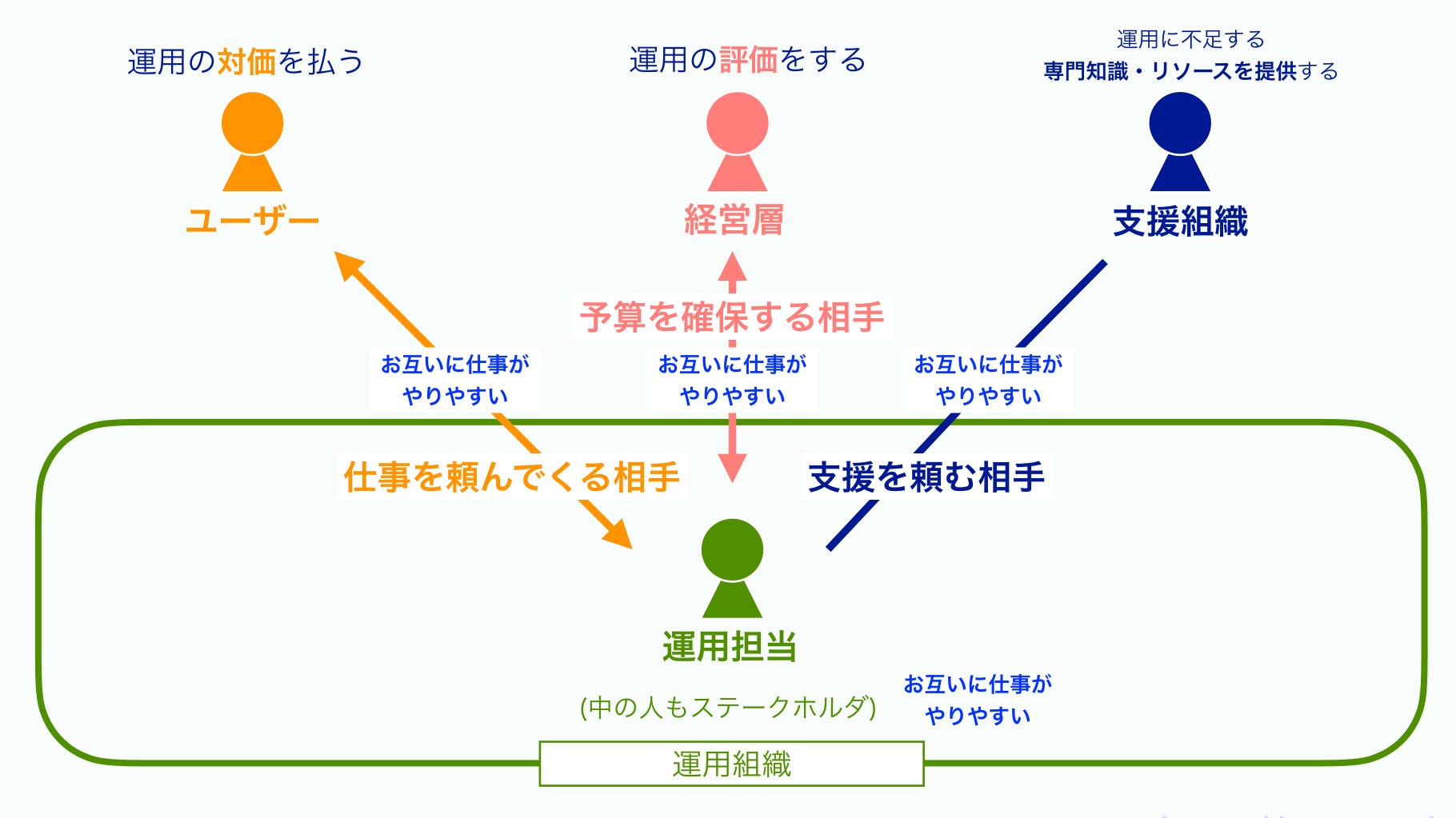
どんなユーザーに、どんな価値を、どう実現して、どんな利益を得るか



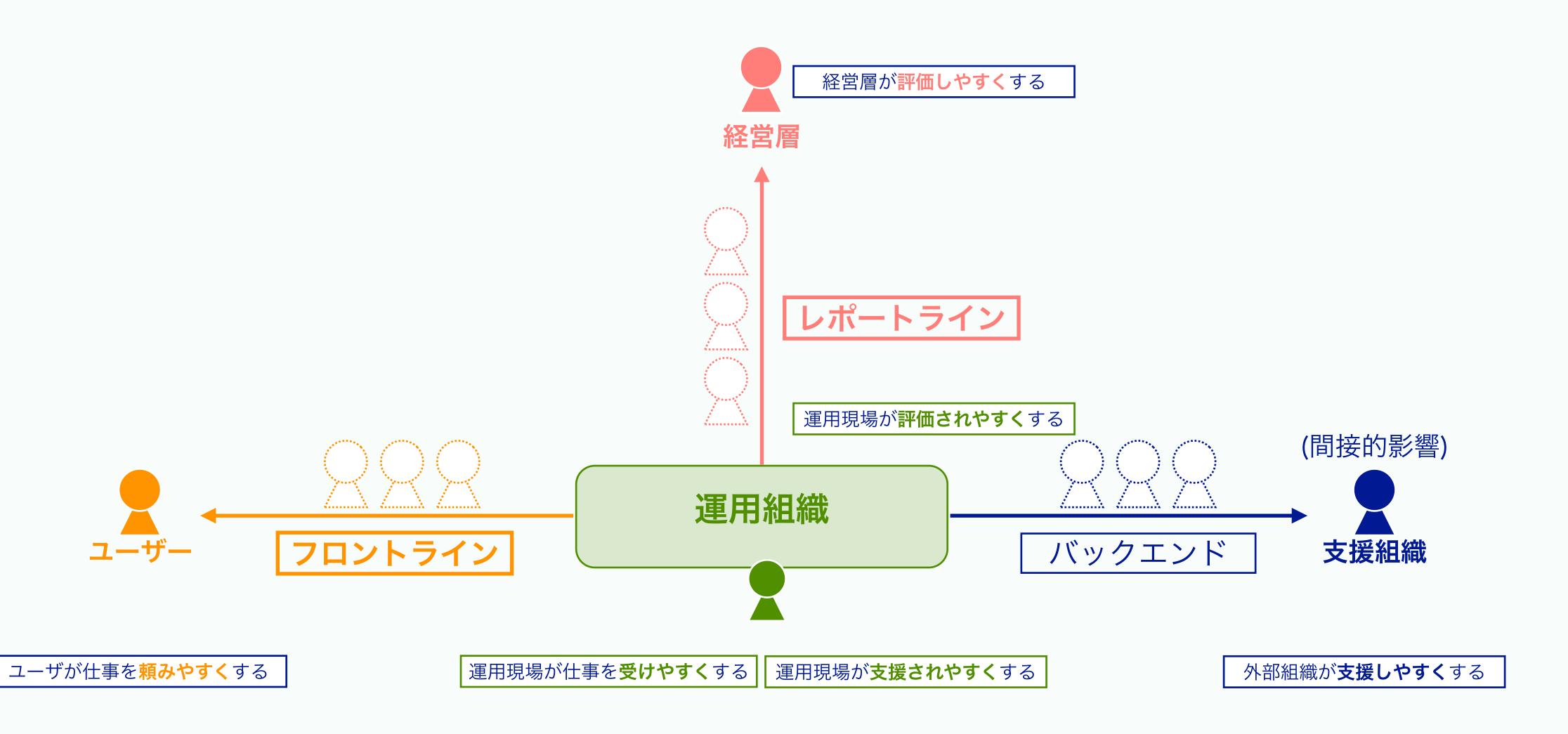
https://www.opslearn.jp/

運用設計により全ての「ステークホルダー」と協調する

運用設計の到達点の一つは、**ステークホルダーとお互いに仕事をやりやすく**すること

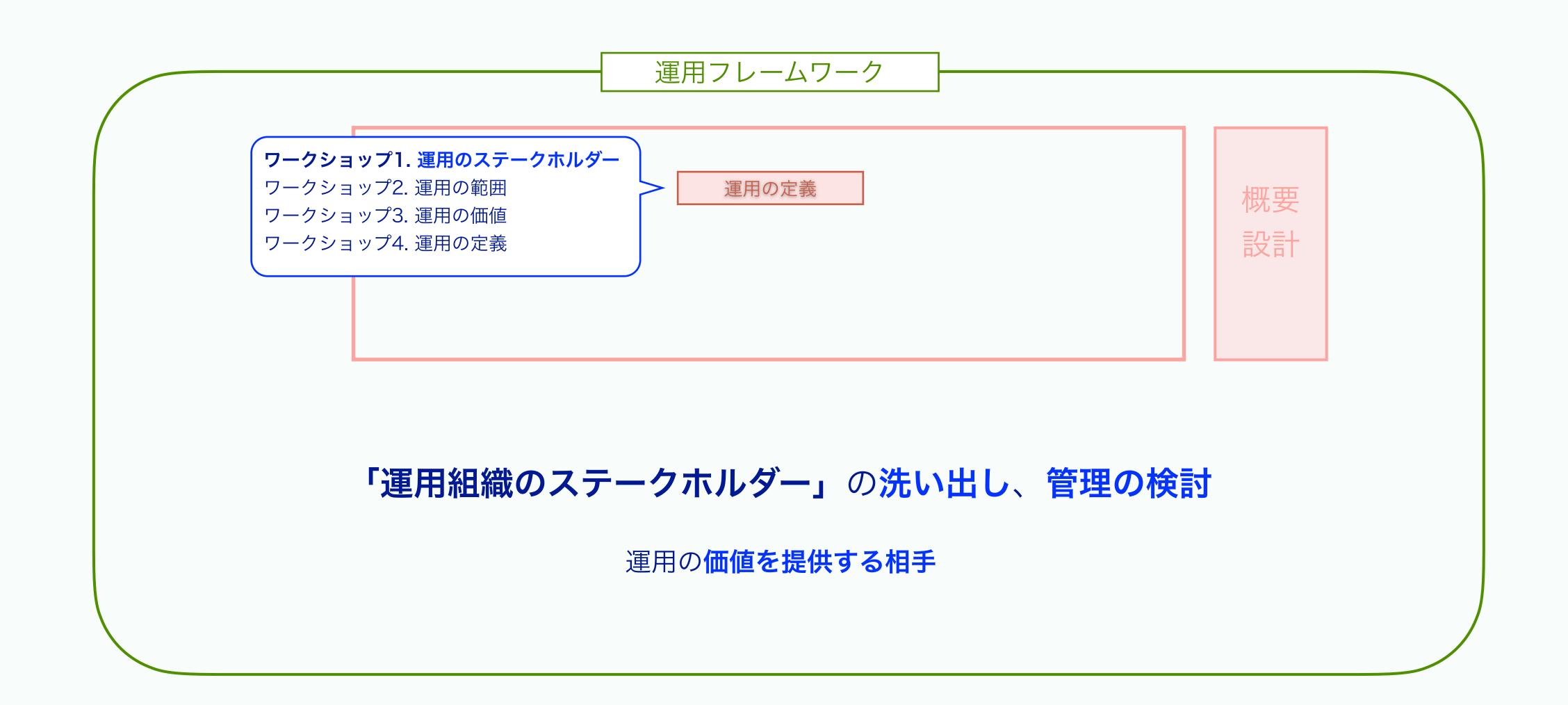


「運用のステークホルダー」と3つのライン



学習ガイド

ワークショップの位置付け



ワークショップは「実務に向けた準備」

運用フレームワーク

ワークショップ1. 運用のステークホルダー

ワークショップ2. 運用の範囲

ワークショップ3. 運用の価値

ワークショップ4. 運用の定義

運用の定義

概要 設計

ワークショップの受講と並行して

「運用フレームワーク」の実装に向けて社内で活動が必要となってきます。

- ・運用ダッシュボードの実装
- ・講義の復習
- ・ 社内での議論、フレームワーク要素の整備(公式化)

今回のワークショップのテーマ

「運用のステークホルダー」とは誰のことか

「**運用**」は、誰に対して、誰と一緒に 仕事をしていくのか

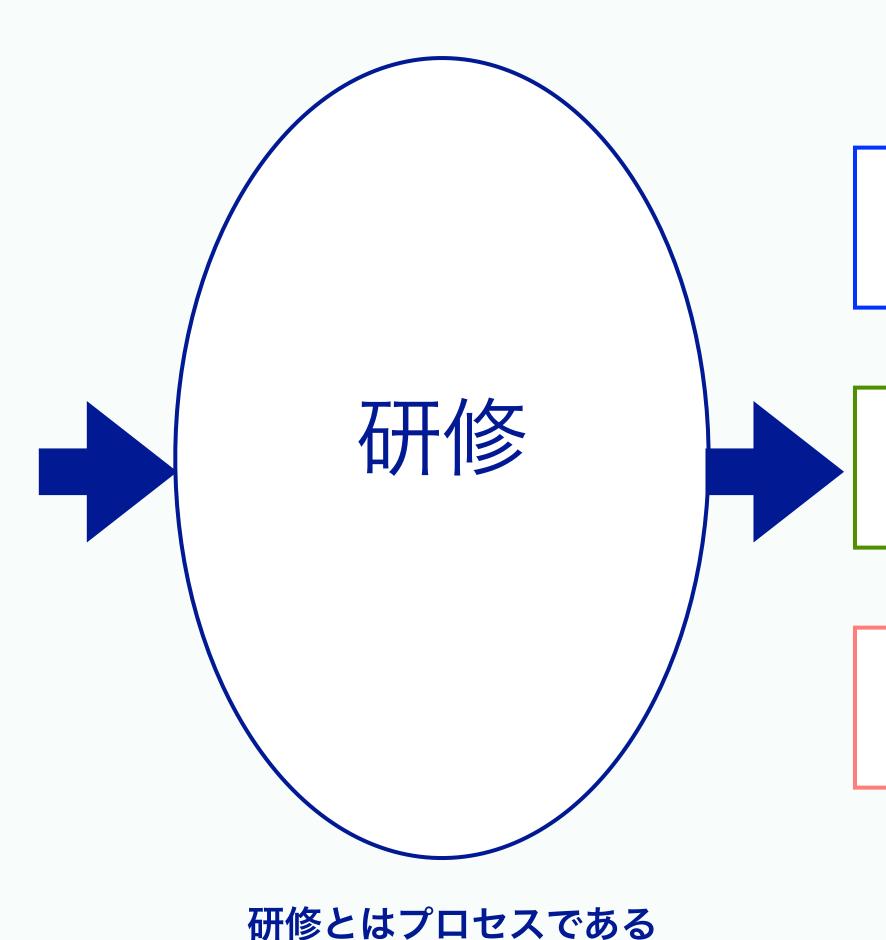
研修による変化 (受講者への期待)

Before

運用のステークホルダーについて 個人的に考えたことが無かった

運用のステークホルダーについて 組織的に議論したことが無かった

運用のステークホルダーについて 組織的に議論したことはあった



After

自分達の**運用のステークホルダー**について **個人的に深く考察**するようになる

自分達の**運用のステークホルダー**について **組織的に活発に議論**するようになる

自分達の**運用のステークホルダー**について **継続的にブラッシュアップ**するようになる

ワーク1.3ライン図の作成

ワーク1: 3ライン図の作成

ワーク1 資料参照

ワーク2. ステークホルダー一覧の更新

ワーク2 資料参照

ワーク3. 連絡先管理台帳の作成

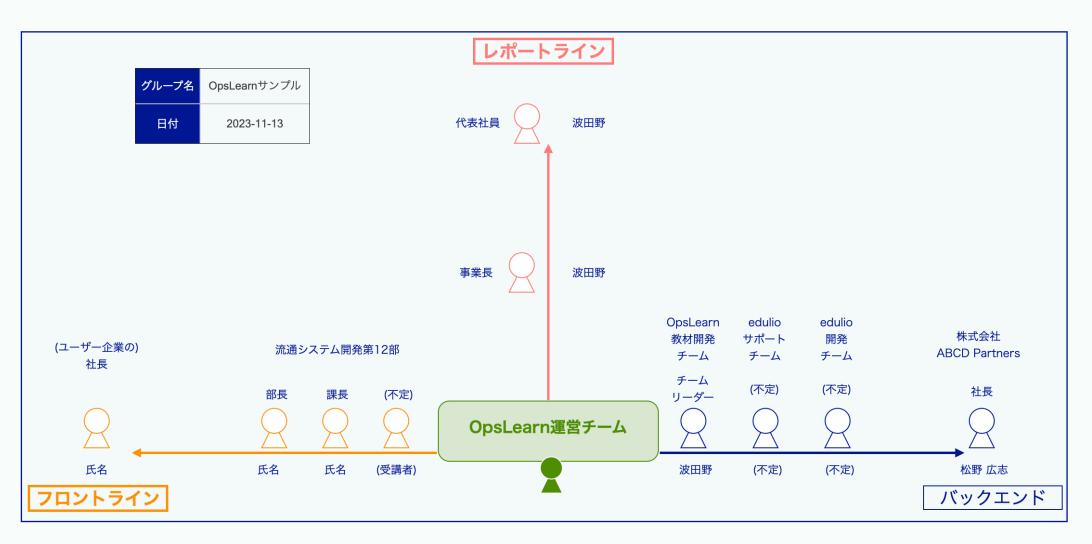
ワーク3 資料参照

成果物と応用

成果物



ステークホルダーの概略図



ステークホルダー一覧/連絡先管理台帳

ステークホルダーの一覧および連絡手段の明確化

氏名	所属組織	役職	運用	組織との関係	運用組織との距離感	主	主なコミュニケーション手段		
)	運用本部	運用本部長	(ビジネスオーナー、上	位組織長、役員、社長など)	(直接、2ホップ、3ホップなど)	(メーリングリス	ト、個人メール、電話、チャットな	など)	
田野 裕一	Onslearn車業グループ 氏名	重 <u>業</u> 所属組織	ビジネスオーナー 役職	運用組織との問	直 注 関係 運用紙	レポート I織との距離感	主なコミュニケーション手段	;	
田野 裕一	(例) 管理本部		(なし)		ベンダー側担当など)(直接、2ホッ		- リングリスト、個人メール、電話、チ		
	波田野 裕一 OpsLear	n教材開発チーム	チームリーダー	OpsLearn教材の製作、保守	直接		ジトリ		
	AWS t 氏名		所属組織	役職	運用組織との関	孫	運用組織との距離感	主	なコミュニケーション手段
		xx社システム部		(なし) (自社側:	営業、ユーザー側窓口、ユーザー	側担当など)	(直接、2ホップ、3ホップなど)	(メーリングリス	ト、個人メール、電話、チャットなど
	oVice 中澤 淳	流通システム開発第12部		部長 講義受講	構者、ワークショップ受講者、壁打	丁ち出席者、決裁権者	直接	講義、メール、オ	-ンラインミーティング
	 窪田 智哲	流通システム開発第12部	システム第1課	課長 講義受請	<u> </u>	Tち出席者	直接	iii 義。メール。オ	ンラインミーティング
	磯部 仁美	流通システム開発第12	氏名	所属組織	役職		運用組織における役割		
	江前 康之	流通システム開発第12流通システム開発第12		運用3課	(なし)	A社向け定営作	A社向け定常作業のオーナー。障害対応設計を		
	"A"							ХПС / 18	
	石塚 浩充	流通システム開発第12 波	出野 裕一	OpsLearn運営チーム	チームリーダ	OpsLearnの連	営全般をリードする。		
	角田 光太郎	流通システム開発第1次	医田野 裕一	OpsLearn講師班	班長	OpsLearnの講	師活動をリードする。		ラインミーティング
	原達 めぐみ	流囲ン人ナム開発界12	双田野 裕一	OpsLearn業務班	班長	OpsLearnの事	務業務をリードする。		
		波	召田野 裕一	OpsLearn講師班	メンバー	OpsLearnの講	師活動を行う。		
		波	四野 裕一	OpsLearn業務班	メンバー	OpsLearnの事	務業務を行う。		
						•	nttps://	WWW.	.opslearn.j

成果物と応用

フェーズ1 Excelファイル

フェーズ2 DB化

化

フェーズ3

API化

ステークホルダー一覧 **連絡先管理台帳** ステークホルダー一覧 **連絡先管理台帳**

建稻无官埋台帳



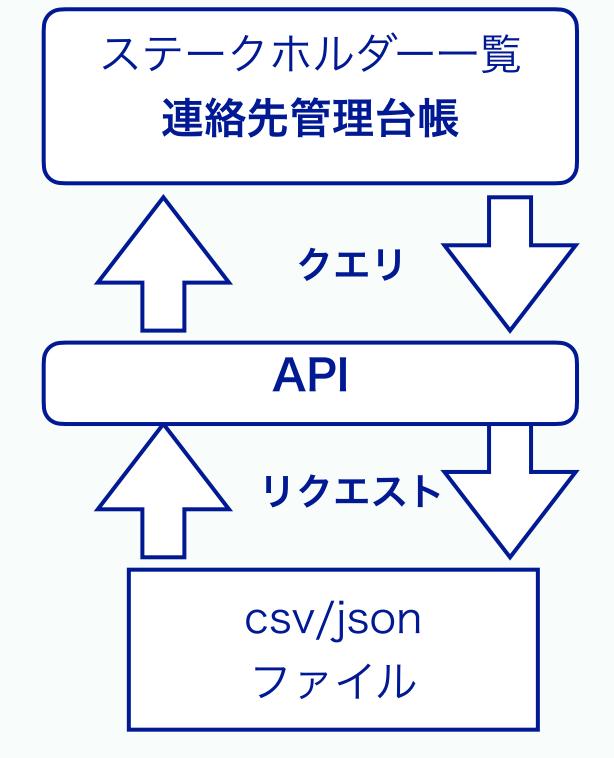
ファイルアクセス権限が必要 排他制御が弱い

CSVファイル



DBアクセス権限が必要

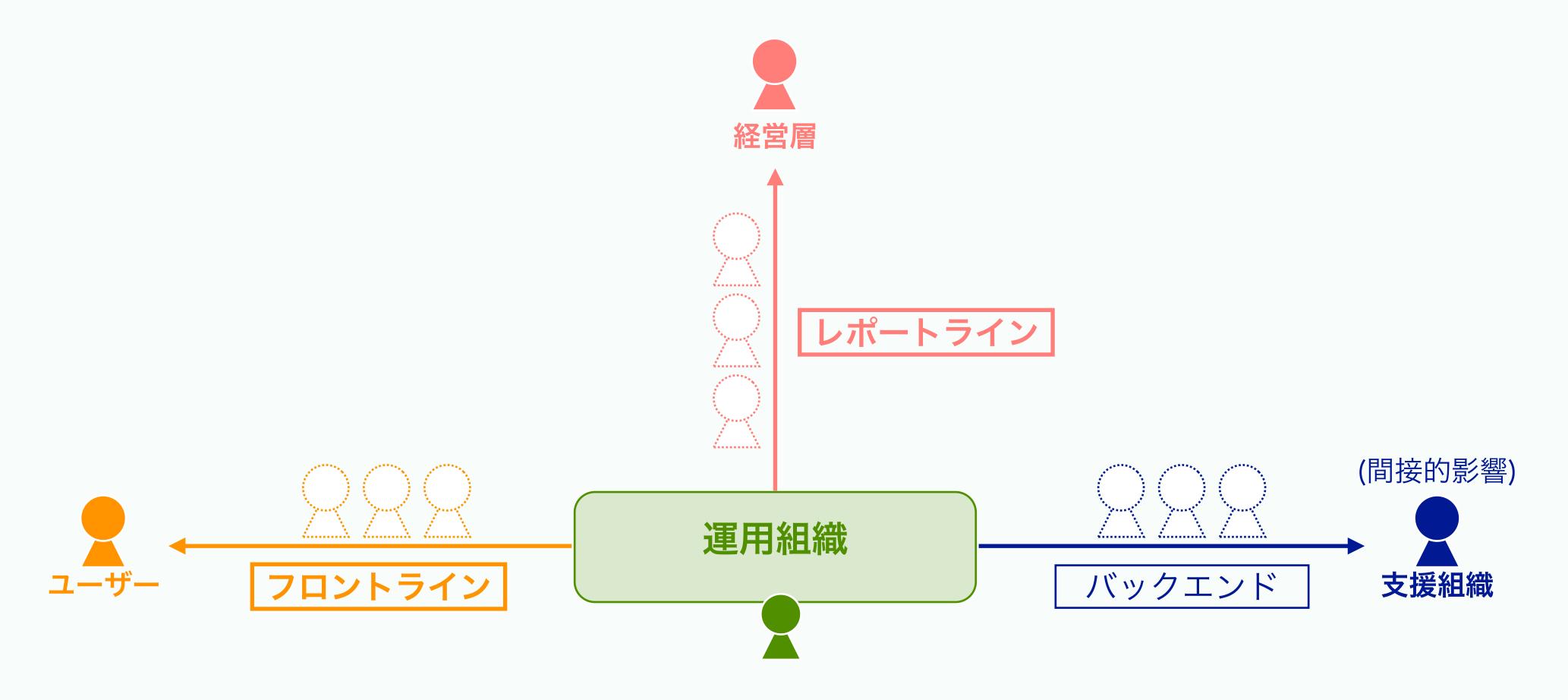
csv/json ファイル



今後のアクション

今後のアクション

自分達の「運用のステークホルダー」を精緻化しましょう



参考: 運用のステークホルダーと「連絡先管理台帳」

運用フレームワーク

最終ToBe 運用のあるべき姿 運用の定義 運用の定義 ステークホルダー分析 概要設計 4. 運用の定義 現時点のあるべき姿 中間ToBe 1. 運用のステークホルダー 期待分析・成果設計 3. 運用の価値 (概要) (組織レベル) 2. 運用の範囲 サービスカタログ 中間ToBe 現時点のあるべき姿 業務プロセス設計 (詳細) (業務レベル) 作業カタログ設計 運用基盤設計・整備 運用資産管理設計 連絡先管理台帳/DB 「守り」の部分 「攻め」の部分 改善スキーム設計 運用の羅針盤 運用作業の測定 Asls 現状の把握

講義のふりかえり

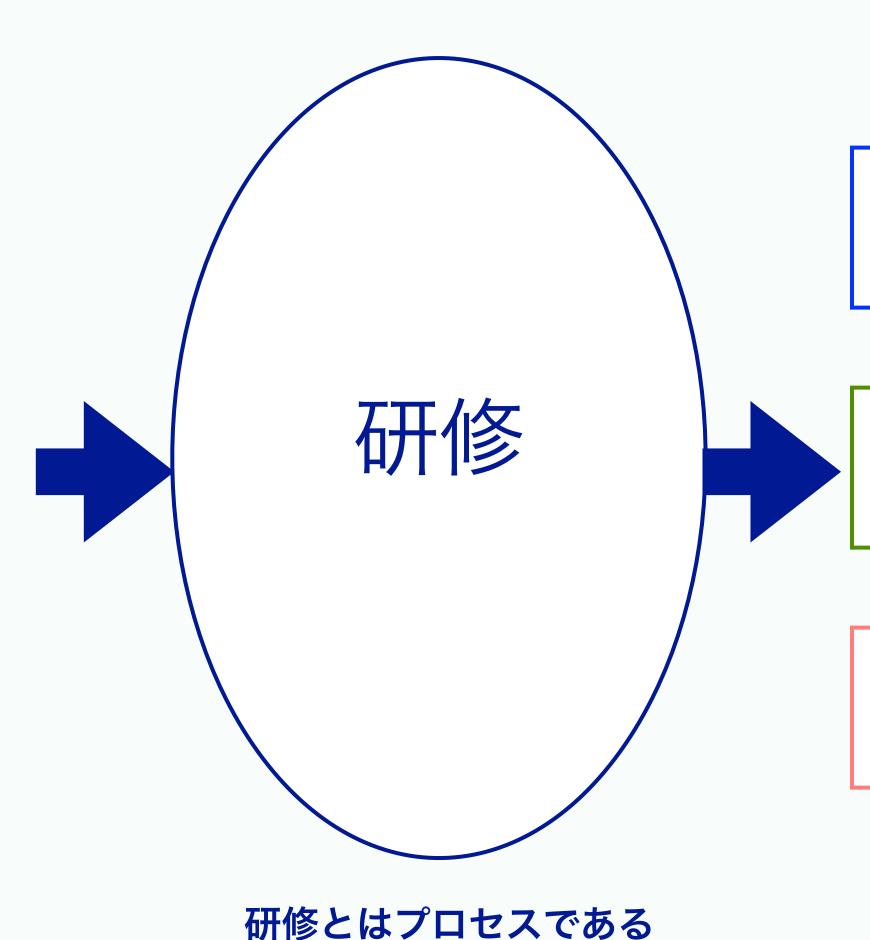
研修による変化 (受講者への期待)

Before

運用のステークホルダーについて 個人的に考えたことが無かった

運用のステークホルダーについて 組織的に議論したことが無かった

運用のステークホルダーについて 組織的に議論したことはあった



After

自分達の**運用のステークホルダー**について **個人的に深く考察**するようになる

自分達の**運用のステークホルダー**について **組織的に活発に議論**するようになる

自分達の**運用のステークホルダー**について **継続的にブラッシュアップ**するようになる

今回のワークショップのテーマ

「運用のステークホルダー」とは誰のことか

「**運用**」は、誰に対して、誰と一緒に 仕事をしていくのか

https://www.opslearn.jp/